

英女性旅行家イザベラ・バードが明治時代にたどった県内ルートを、東京のまちづくりグループ「元気・まちネット」(矢口正武代表)Ⅱ戸沢村出身)メンバーと歩くツアーの第二ステージが、七月十二・十三日、南陽から山形までの行程で行われる。参加希望者四十人を六月三十日まで募集している。

昨年「バードの道」を踏査した「まちネット」メンバーがガイドを務め、自然や歴史を感じながら

イザベラ・バードが たどった道を歩こう

南陽—山形間、来月12—13日

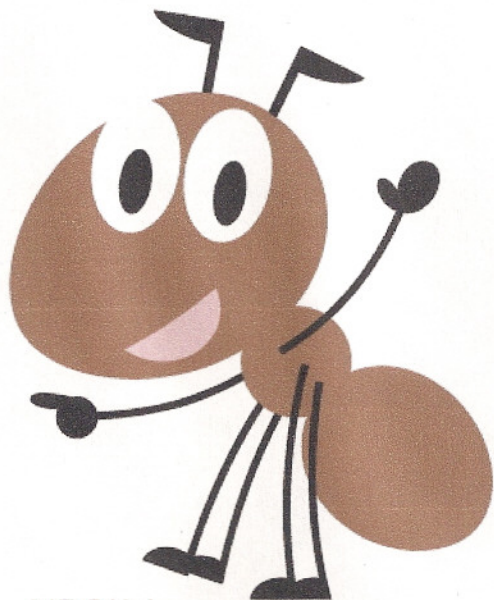
徒歩とバスで楽しむ三回シリーズのツアーで、五月(小国—川西)に続く第二弾。第三弾は九月十三—十四日(大石田—真室川)を予定している。

費用は一日参加五千円、二日間参加で九千八百円(宿泊の場合は別途七千五百円)。申し込み、問い合わせはT130-0013、

第二ステージの日程は、十二日南陽、白竜湖を望む展望広場、上の旧羽州街道榎下宿、石造りの堅磐(かきわ)橋などを経て上山温泉へ。十三日は石崎神社など山のバードゆかりの地を見学した後、山形市でバードが近代建築に

目を見張った文翔館(旧県庁)、市郷土館(旧済生館)などを見学する予定。

555。



NPO法人

元気・まちネット